



EQUALITY

LIBERTY

FRATERNITY

2019

69

summer

ココって  
いittai  
どんなトコ?

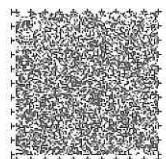
かがやきポルト わこ



デフバスケットボールチーム

まこと

誠 family





# ひつていつたい どんなトコ?



## かがやきポルトわこ

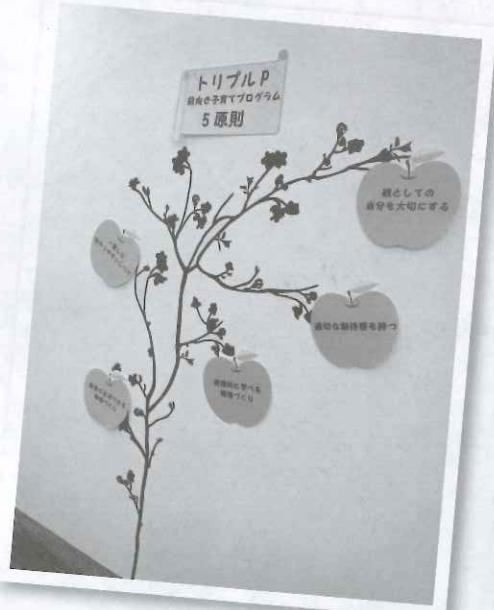
こんかい 今回は、「かがやきポルトわこ」を運営しているNPO法  
 じん わ か やま こ じん わ か か やくたい ばう し きょうかい ふくかい ちょう こ じん  
 人和歌山子どもの虐待防止協会の副会長であり、子どもの人  
 けん かか かつどう けん かか かつどう だいひょう いえ  
 権に関わる活動をしているtoddleわかやま代表でもある家  
 もと 本めぐみさんと、toddleわかやまのメンバーのみなさんに  
 はなし うかが はなし うかが はなし うかが  
 お話を伺いました。

### Q1. 「かがやきポルトわこ」は、どんな場所ですか？

こそだ なや ふあん ひ び しんぱいごと だれ はな  
 子育ての悩みや不安、日々の心配事など、誰かに話したい  
 おも そうだん ば しょ  
 と思ったときの相談場所です。「ポルト」とは「港」という意味で、その名のとおり、気軽にふ  
 たたよ ば しょ  
 と立ち寄れる場所をめざしています。

そうだん まどぐち やくわり まえむ こ  
 相談窓口としての役割のほか、トリプルP（前向き子  
 そだ 育てプログラム）など各種セミナーの開催、スペースの  
 かしだし 貸出なども行っています。貸出スペースにはおもちゃや  
 えほん 絵本もあり、「子どもとゆっくり過ごしたい」「おしゃ  
 べりして気晴らししたい」など、自由に使ってくださっ  
 けこう て結構です。

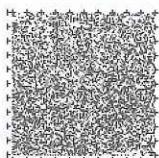
しょうに か しょうかい くち とお らいしょ  
 小児科の紹介や口コミ、通りがかりなど、来所のきっ  
 かけはさまざまですが、中でも口コミの力は大きいで  
 す。周囲にお困りの方がいれば、紹介していただけると  
 うれ 嬉しいです。



### Q2. 子どもの虐待は本当に大きな社会問題となっています。

じ どうぎやくたい そうちん  
 わこでも児童虐待の相談などはありますか？

じ どうぎやくたい そうちん う じ どうそうちんしょ けいさつ  
 わこでも、児童虐待についての相談を受けることもあります。児童相談所や警察  
 こうほう に通報するというのは、ハードルが高いと感じられるかもしれません。そんなとき



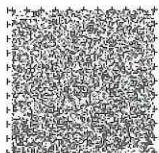
は、わこに相談してくださるとありがたいです。相談内容によって、しかるべき場所につなぎますので、「もしかしたら虐待じゃないかも」と思っても、気になることがあれば連絡してください。近所で子どもが泣いている場合、それだけでは虐待か他の理由かはわかりませんが、相談することで第三者が介入すれば、泣いている原因を見つけることができるかもしれません。虐待ではなく、発達に特徴のあるお子さんがお風呂を嫌がりぐずっていたという例もあります。また、実際に虐待だった場合は早期発見することができ、小さな命や、親の困り感を救うことにつながります。

自分がしていることは虐待かもしれない、してしまうかもしれないという不安もあるかと思います。話すのは勇気がいるかもしれません、少しでも楽になるためにも相談してください。



### Q3. 児童虐待をなくすために、保護者が意識できることは何でしょうか？

大人はどうしても、子どもの悪いところや、やってはいけないことに注目しがちです。反対に、いいところやできていることに対しては、当たり前すぎて見過ごしてしまうことになります。自分で服を着られたとか、きょうだいと仲良くできたとか、日常の何気ない言動に注目してほめることで、子どもに対する見方が変わります。見方が変われば気持ちも変わり、子どもの行動も変わります。もちろん、社会のルールやマナー、本当にあってはいけないことを教えることは大切です。でも、大人が覚えておかなければならぬのは、「暴力なしでも子育てはできる」ということです。国会でも、親権者などによる体罰禁止などを明記した、「改正児童虐待防止法」と「改正児童福祉法」が成立し、2020年4月から施行されますし、児童虐待に係るさまざまな事柄について審議されています。



Q4. 「こんなこと相談していいのかな？」と一步踏み出せない人もいるかもしれません。  
どんなささいなことでも相談できますか？



本当に、どんな小さなことでも結構です。自分の子なのに育てにくいとか、叱ってばかりいるとか、多くの人が抱えるモヤモヤは、発信することで思わぬ解決の糸口が見つかることがあります。例えば、お子さんが発達障害の特徴によく当てはまるため、発達検査を受けたのにそうではなく、どうすればいいかわからないという保護者の方が相談に来られたことがあります。そこで、発達障害ととてもよく似た特徴を

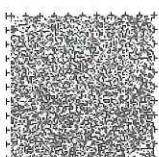
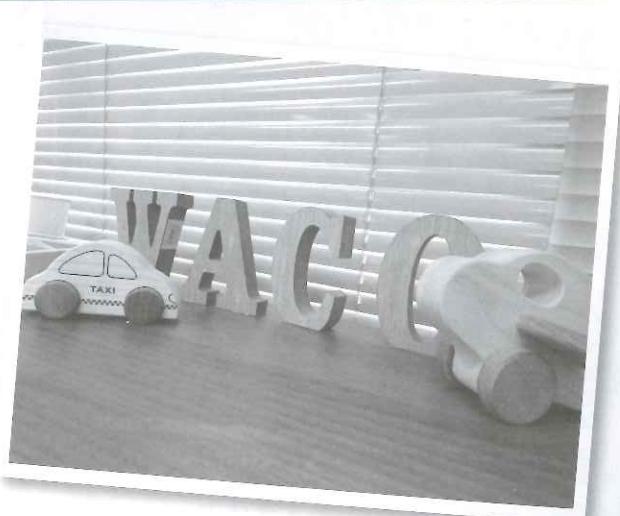
持つ「HSC（人一倍敏感な子）」ではないかと、書籍を渡して読んでもらうと、まったくそのとおりだということでした。HSCは発達障害とよく似ていますが、診断名ではなく特性であり、人の気持ちを推測することが苦手な発達障害に対し、人の気持ちにも敏感すぎるという点が決定的に違います。このお母さんは、発達検査を受ける以外の発想や選択肢がなかったため苦しい思いをしたのですが、こういった情報を取り入れるためにも外部との関わりは有効です。

「こんなことぐらい」と思うかもしれません。でも、しんどさを抱えたまま子育てをするのは心身共に大変です。あまり構えず不安を吐き出してみてください。

Q5. 読者のみなさんや、子育てのことでお悩みの方にメッセージをお願いします。

子育てに不安を感じていない人はいません。

また、他人に指摘されたことには過敏になります。自分はきちんと子育てできているだろうか、どうしてこの子は言うことをきかないのか、みんなはもっとうまくやっているのに…そんな思考が積み重なれば、心がくたびれてしまします。世の中の子育て中の方は、日々の忙しさの中で十分がんばっているんです。



子育て中の方に伝えたいのは、「一人じゃないよ」ということ、そして「がんばりすぎず、ひと休みすることや、自分も大切にすることを忘れないで」ということです。子育てをしていると、どうしても一人で抱え込んでしまう人が多いです。そうせざるを得ないと言った方がいいかもしれません。そんなとき、「助けてほしい」と言える場所があれば、子どもも大人も楽になります。「わこ」がみなさんにとってそんな場所になればと願っています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

## かがやきポルトわこ

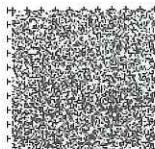
●住所 和歌山市美園町5丁目6-12(JR和歌山駅徒歩約3分)

●開所日・時間 (祝日除く)火・木・金

12:00~15:00(都合により変更有)

●TEL/FAX 073-425-6626

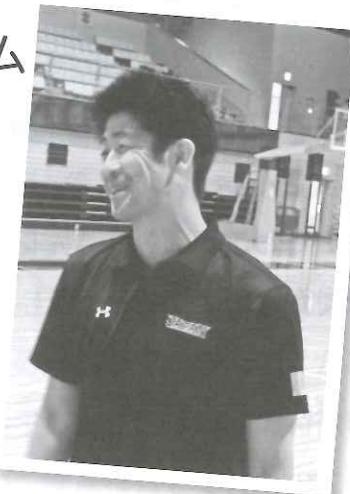
●E-mail kagayakipwaco@yahoo.co.jp





## デフバスケットボールチーム まこと 誠 family

今日は、デフバスケットボール  
チーム「誠family」の監督、そして男子日本代表監督でもある  
上田頼飛さんにお話を伺いました。



人権啓発センター（以下センター）：デフバスケットボールと  
は、どんなスポーツですか？

上田：聴覚に障がいのある方のバスケットボールです。ルールは健聴者の競技と全く同じで、違うところは、コートの2カ所にいるフラッグマンが旗で合図をして、笛やブザーの役割をすることです。また、競技中は補聴器の使用が禁止されています。

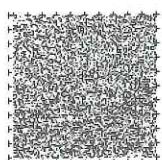
センター：「誠family」はどんなメンバーで構成されたチームですか？

上田：大阪と和歌山をホームとして活動していますが、選手は関西だけでなく関東や北陸にもいます。実はチームの9割が日本代表選手です。今日は、世界大会に向けた最終調整のための練習です。



センター：チームがめざしている姿は？

上田：「応援してもらって当然」という気持ちではダメだと、選手には常々伝えています。面と向かって応援していないとは誰も言わないでしょう。特に、「障がい者スポーツ」という看板があればなおさらです。特別扱いや同情ではなく、心から「応援したい」と思ってもらえるチームでありたいですね。特に、国代表として出場するならその自覚は必要です。ちなみに私たちには移動のとき、必ずスーツ着用なんですが、それも姿勢の表し方の1つであり、応援してくださる方たちへの敬意だと思っています。



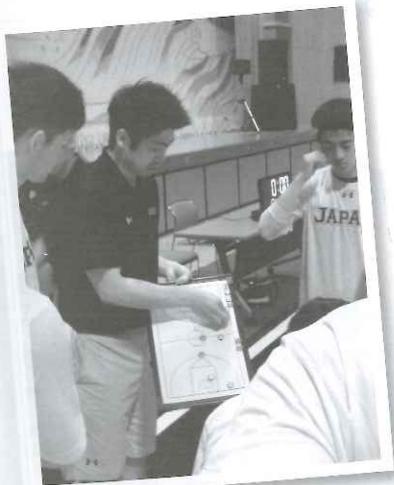
センター：味方が後ろにいるときや、ノールックパスをするときは、どうしているのですか？

上田：音を頼りにできない分、視覚に頼ることになります。具体的には、間接視野（直接見ているものの周りにあるものをぼんやりと見ること）や残像視野（ものが動いた後の残像を見ること）の捉え方の強化を中心におこない、場面が断片とならないように把握するという方法をとります。そのためには視野を広く持つことが必要ですが、実は聴覚に障がいがある方の特徴として、手話や唇（読唇術のため）を注視することが多く、間接視野の意識が難しい部分があります。



センター：お互いに声かけをするときには、どのようにしてタイミングを計っているのですか？

上田：さっき、シュートが入ったときに手を叩いていたでしょう。あれは、入ったときではなく、ボールが床に落ちたのを確認したときなんです。同じように、円陣を組んで気合いを入れるときも、みんなで拳をつき合わせて同じ動きをし、視覚的にタイミングを計って声をかけ合っているんです。

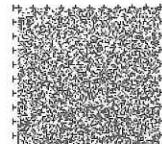


センター：練習中のコミュニケーションは、どのようにとっていっているのですか？

上田：ジェスチャーを交えて話をしながら、隣で選手の1人が手話で伝えています。作戦を伝えるときにはホワイトボードを使って説明します。選手によって、聞こえの程度が違うため、手話だけや口話だけなど、画一的なコミュニケーション方法では不十分なんです。

センター：先程、アシスタントコーチの方が指導していましたが、常に監督とコーチのお二人がベンチにいるのですか？

上田：そうです。むしろ普段からアシスタントコーチも選手に作戦を伝えたり、指導したりしており、お互いに秀でている部分を伝え合っています。トレーナーが1人いますが、うちのチームではトレーナーの発言権が一番大きいんです。選手と最も長い時間関





わり、選手のことをよくわかっている立場の人間が、監督に気を遣って言うべきことを言えない空気を作るのは良くないと思っています。指導者間の風通しの良さもチームにとって大切なことです。

**センター：コミュニケーションをするうえで、大切にしていることは何ですか？**

上田：選手にはいつも、「わかったふりや聞こえているふりをしない」ということを伝えています。監督の指示や仲間の言葉をきちんと理解しないままでは、作戦通りの試合運びはできません。わかったふりでその場をしのごうとしても必ずほころびが出ます。そうならないように、普段からできるだけたくさんコミュニケーションをとり、意思疎通を図るようにしています。

### センター：読者のみなさんにメッセージをお願いします。

上田：私自身のポリシーとしてめざしているものは、「みんなが幸せに暮らすこと」です。みんなが幸せに暮らすための楽しみツールのスペースとしてあり続けること、そのためにはコミュニケーションが不可欠です。デフバスケットボールを通じて学んだ、「想いを伝えること」、そして「言葉を感じとること」の大切さを広めていきたいと思っています。

### <試合日程等>

2019年10月19日・20日

全日本デフバスケットボール選手権大会、横浜ラポール

2019年11月1日～10日

デフリンピック予選・アジア太平洋大会、香港

2020年2月22日・23日

全国デフバスケットボール大会、紀の川市立体育館（予定）

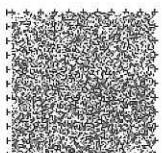
2020年2月24日

デフバスケットボールチャリティーイベントmix+



\*\*\*\*\*

上田さんにお話を伺い、チームとして「コミュニケーション」を本当に大切にしていることが伝わってきました。ゲームの勝敗以前の問題として、仲間同士がいか



に多くの言葉を交わし、相手の気持ちに思いを馳せるか。良いチームをつくることは、すなはち良い人間関係をつくることです。

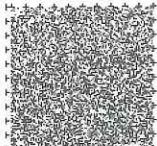
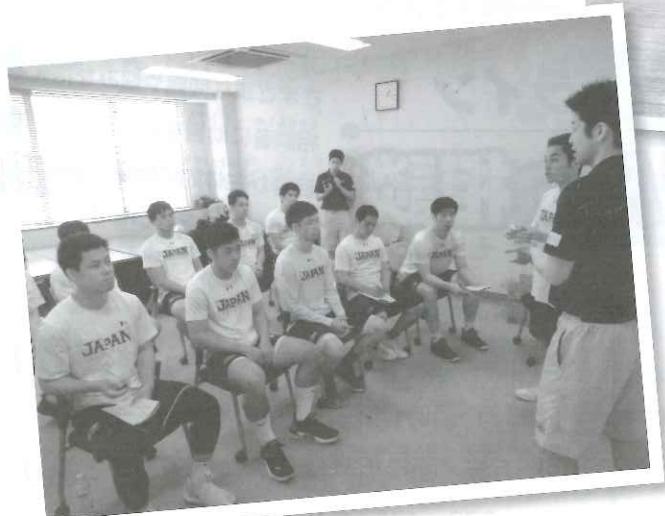
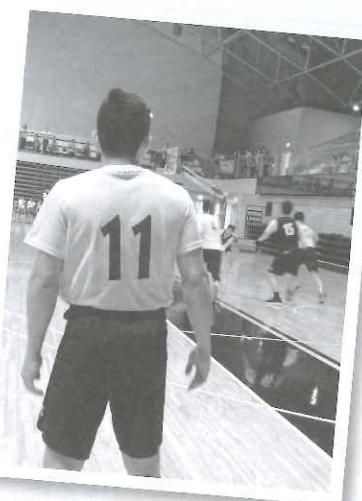
コミュニケーションの大切さは、人権について考えることと、深く関係しています。私たちは、この社会で他者と一緒に生きています。お互いの違いを見つめ、それを認め合うためには、コミュニケーションが不可欠です。

「わからなければ相手に尋ねる」

「わかったつもりにならない」

とても簡単なように見えますが、実際にできているでしょうか？

誠familyのみなさん、大切なことを教えてください、本当にありがとうございました。



## 機関誌「E.L.F.」へのご意見、お待ちしています。

「E.L.F.」は、公益財団法人和歌山県人権啓発センターが年4回発行している機関誌です。人権に関するさまざまな団体や情報の紹介、当センター主催のイベント情報などをお知らせしています。

「こんなテーマを取り上げてほしい！」

「こんな団体知ってるよ！」

読んでみたいテーマやPRしたい団体の取組などございましたら、(公財)和歌山県人権啓発センターまでご意見をお寄せください。

これからも、みんなに楽しんでもらえる機関誌をお届けできるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いします。



### 人権ホットライン

## 人権でんわ相談

さまざまな問題や悩みを抱える  
相談者に助言を行い、  
自身が主体的に問題を解決する  
ための支援を行います。

### 一般相談

①開設日時／毎週月曜日～金曜日

午前9時～午後4時(祝日・12/29～1/3は休み)

②相談方法／電話相談

TEL 073-421-7830

### 弁護士による無料法律相談

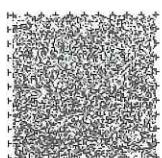
①開設日時／毎月第2・第4木曜日

午後1時～4時(当日が祝日の場合はその翌日)

②相談方法／面接相談(お電話でご予約ください)

TEL 073-435-5420

日頃、生活の中で人権に関するお困り事などがありましたら、  
お気軽にご相談ください。



じん けん き かく てん  
**人権企画展**

**人権の詩（こころのうた）  
パネル&シアター**

さくねん ど 昨年度、多くの方にご来場いただいた「人権の詩（こころのうた）パネル展」がボリュームアップ！

こんかい とう じ ぎょう 今日は、当センター事業「人権の詩（こころのうた）」が始まった2002年度から、最新の

ねん ど ち じ しょう えら さくひんけい てん じょうえい ねん ど 年度までに知事賞に選ばれた作品計51点をシアター上映、2009年度から2018

ねん ど ち じ しょう さくひんけい てん じ ねん ど 年度までの知事賞作品計30点をパネル展示します。



ほっとする詩、心があつたくなる詩、考えさせられる詩。

みじか ぶんしょう なか かく じんけん 短い文章の中に隠れた「人権」を、あなたも見つけに来ませんか？ご来場、お待ちしています。

●期間：2019（令和元）年8月26日（月）～9月10日（火）※日曜除く

●時間：9:30～17:00

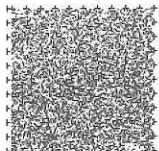
●場所：（公財）和歌山県人権啓発センター  
研修室



**「人権の詩（こころのうた）」募集中**

ふだん なにげ せいかつ なか みす 普段の何気ない生活中で、ともすれば見過ごしがちなできごとを「人権」という視点から「詩」につづることで、身近な人権について見つめ直してみませんか？みなさまのご応募をお待ちしています。

●募集期間：2019年7月1日（月）～2019年9月5日（木）



# 『みんな、たいせつ』出張講座 訪問先決定！

ようじむじんけんけいはつ  
幼児向け人権啓発プログラム「みんな、たいせつ」を  
もって、専門のファシリテーターがみなさまのところに  
おじゃまします！

ことし  
今年もたくさんの園や施設からご応募いただきました。  
せんこうけっかかき  
選考の結果、下記の10箇所への訪問が決定しました。  
ご希望に添えなかったみなさま、本当に申し訳ありません。

どう  
当センターでは、今後ともさまざまな催しやセミナーを実施してまいります。どうぞよろしく  
ねが  
お願いいいたします。



## 出張講座の訪問先 (10箇所) ※順不同

かみみなべえんちょうかいなんしりつこども園 (みなべ町)、海南市立みらい子ども園  
(海南市)、しろがね保育園 (和歌山市)、和歌山市立雑賀崎幼稚園 (和歌山市)、清水保育所 (有田川町)、南部保育所 (みなべ町)、(社福) 寿翔永会橋本さつき保育園 (橋本市)、学文路さつきこども園 (橋本市)、御坊はこぶね幼稚園 (御坊市)、高野山こども園 (高野町)



■ お問い合わせ 〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛2階  
TEL 073-435-5420 FAX 073-435-5421  
URL <http://w-jinken.jp/> E-mail [mail@w-jinken.jp](mailto:mail@w-jinken.jp)

■ 開館時間 9:00 ~ 17:45 \*人権ライブラリー・人権ギャラリーは、  
9:00 ~ 17:00

■ 休館日 日曜・祝日、年末年始 (12/29~1/3)

■ 交通案内 JR和歌山駅から徒歩約20分、バス:約5分「手平出島」下車  
JR宮前駅から徒歩約7分  
南海和歌山市駅からバス:約20分「手平出島」下車  
有料駐車場あり 100円/50分 (30分以内無料)

